



2024年8月9日

各 位

会社名 岩塚製菓株式会社
代表者名 代表取締役社長 COO 榎 大介
(コード番号 2221 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務取締役経営管理本部長
星野 忠彦
(TEL:0258-92-4111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年5月14日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

連結業績予想数値の修正

2025年3月期第2四半期 (2024年4月1日～2024年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	10,650	0	1,300	900	86円53銭
今回発表予想(B)	11,700	300	3,000	2,000	192円30銭
増減額(B-A)	1,050	300	1,700	1,100	
増減率(%)	9.9	—	130.8	122.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	10,209	82	2,178	1,499	133円78銭

2025年3月期通期 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	22,900	400	2,200	1,500	144円22銭
今回発表予想(B)	24,000	650	3,500	2,400	230円76銭
増減額(B-A)	1,100	250	1,300	900	
増減率(%)	4.8	62.5	59.1	60.0	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	22,000	603	2,808	1,957	175円37銭

(注) 当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前期第2四半期実績及び前期実績の1株当たり四半期(当期)純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間純利益」及び「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 修正理由

米菓業界では、市場全体の売上高は昨年を上回って推移している模様であります。一方で、円安進行による原材料やエネルギー価格の高騰に加え、昨夏の天候不順により原料米受給が悪化、加えて人件費や物流費の増加など、コスト上昇は避けられない厳しい状況が続いております。

当社におきましては、主力商品の浸透施策を推し進めた結果、定番品主体に増収基調で推移し、第1四半期迄の連結売上高は、計画を上回る5,965百万円(前期比112.4%)と伸長いたしました。

一方、損益面では、増収効果に加え原材料費や労務費の抑制などにより製造原価の改善が図られた結果、第1四半期迄の連結営業利益は、280百万円となり、黒字を確保することができました。

第2四半期は、例年夏場の気温の高まりにより米菓の需要が押しとどめられるため、業績の維持に腐心する時期となりますが、これ迄の増収基調を保つべく企画品を交えながら主力商品の販売に注力してまいります。損益面では、増産効果による生産性向上に加え、補助政策によるエネルギー価格の抑制が見込まれることから、現時点では、第2四半期累計期間の業績を売上高は11,700百万円、営業利益は300百万円と見込んでおります。また、経常利益におきましては、当社が株式を保有しておりますWANT WANT CHINA HOLDINGS LIMITED.の期末配当金が当初計画より増額することが見込まれることから上記営業利益の修正に加えて第2四半期累計期間の経常利益を3,000百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は2,000百万円と見込んでおります。この第2四半期累計期間の業績修正を踏まえ、通期についても売上高は24,000百万円、営業利益は650百万円、経常利益は3,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2,400百万円と見込んでおります。

以上から、上記のとおり業績予想を修正いたします。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益の修正に合わせ上記のとおりといたします。なお、連結業績予想の修正にあたっては、予想為替レートを対米ドル140円で算出しております。

※ 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上